

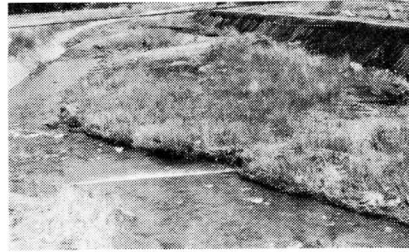
# 牧本小学校

## 1、川原のようすと流水のはたらき

(1) 調べる場所

積迦堂川の児渡橋

(2) 土手の上から川原の様子や水の流れを観察する。

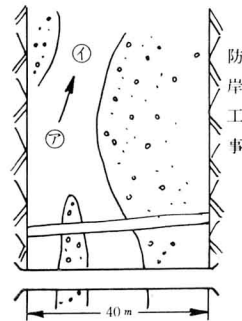


① 土手の上から川の全景をスケッチする。

② 川原や小さな中州、川原の淵のけずられている様子など、気付いたことを書き入れる。

③ 流れが大きく曲がっている場所で、川原の淵がけずられているのは、流れの曲がっている内側か、外側か。

④ 流れが大きく曲がっている内側には川原が見られますが、他の流れが曲がっている所でも調べる。



(3) 川原に下りて、流水のはたらきを調べる。

① 川原の②附近に立って、川原から対岸に進むにつれ、深さはどう変わっているか調べる。

② ②、①の附近で、それぞれ10mの長さを取り、川の流速を調べる。また、②、①の川底はどう違うか。①の川底にはレキが多く見れるが、どうして砂は無いのか。

③ 水中のぞき箱で、①の川底をのぞき、砂やゴミが押し流されている様子を観察する。

④ ②の場所で、川原の近くと、対岸の近くとで、木片を流し、速さを比べる。

⑤ 流れの速さと、川の深さ、川底の砂やレキの大きさ、川原や川岸のけずられ方との間にどのような関係があるか、まとめる。